

# 紹介します！

MY INTRODUCTION

あなたの大切なもの、手作りの作品、お気に入りの写真や町の景色などを紹介します。



申込み 秘書広報課 ☎557-7497

## ● 町からの紹介 ●



### 松原中央公園の流れ

松原中央公園内の芝生広場の一角に水の流れがあります。このたびの補修工事で、御影石とコンクリートの平板を敷き詰めて、小川のような流れに変わりました。補修後、乳幼児や小学生が冷たい水に足を入れて楽しんでる様子を見掛けます。水の流れは、9月末まで午前10時から午後4時30分の間、流していますので、ぜひ遊びに来てください。問合せ 建設課

☎557-7659

## ● 昆虫好きさんからの紹介 ●



### 夏の思い出

今年の夏も暑かったですね。涼を求めに、子どもを連れて狭山丘陵に虫採りに出掛けたところ、たくさんのお虫たちが群がっているクヌギの木を発見しました。樹液が多く出ているのか、カブトムシやカナブンなどが競い合って樹液を吸っていました。身近に残されている自然の中で、宝物を見つけたようで、とても嬉しく、感動しました。いつまでも豊かな自然が残ることを願っています。

## 温暖化

私の子どもたちの夏の庭は、少しも植木があれば、ニイニゼミが鳴いていました。今このセミは、狭山丘陵に入らなければ姿が見えませんが、数も少なくなり、探して発見する対象となっています。どうして、そうならたのでしょうか。

このセミの抜け殻を見て分かる通り、普通のセミの殻はつやつや光って滑らかなものですが、このセミの殻は泥だらけでつやもなく、1.5cm 足らずの小さなものです。この為には、地中の乾燥化に耐えられない幼生と見られておられます。

それではいつごろ、瑞穂で見られなくなったかといいますが、町の上水道が普及始めた時期（1962年事業開始）との説では、地表近くにあって伏流水が配管工事によって地下に流められて、地表の乾燥化が始まったとの話につながります。次に、町に水田が無くなった時期（1987年統計上の水稲収穫0となる）との説では、水田の水の気化熱発散により涼しい地域であったものが、その気候が失われたとの状況があります。いずれ、これらの原因が複合して地球の温暖化とも連合したと思えます。

それから、私の子どもたちは沖繩等にすむヤモリが、都内で発見されると記事になりました。それが今では、瑞穂町でも見掛けるようになりました。このように温暖化は、身近な問題なのです。



ニイニゼミの抜け殻

瑞穂町長 石塚幸彦 町長

